

**越山若水**

2021.12.2

エッセイスト、阿川佐和子さんの著作で、かつてのベストセラー「聞く力」が再びブームである。

自民党総裁選で岸田文雄首相が特技を「聞く力」と語ったことがきっかけとなった▼エッセー「聞く力」は20

12年に出版され、発行部数100万部を越す大ヒットとなる。阿川さんは雑誌で千回以上の著名人との対談の経験が聞く力を育ててくれたという。その1人の臨床心理学者河合隼雄さんとの対談を同書で取り上げる。心にさまざまな傷を抱える人たちのカウンセリングのプロである▼河合さんは患者にアドバイスはしない。というのも、心の病を治すにはその原因を探し出す。つまりその原因を聞き出すことが必要で、相づちを打ち話を促すことに徹する。「ただ聞くこと。それが相手の心を開く鍵である」という河合さんの極意から、阿川さんは人の話を聞くことの大切さを再認識したとカ▼「聞く力」をテーマとした雑誌企画で、岸田首相が就任ほぼ1カ月後に阿川さんと対談し、こう語る。「政治家はしゃべる方で競い合うもので自分は分が悪い。自分なりに考え『聞く力』だなと」「聞く力」というのは『本当に聞くべきことを聞く力』かもしれない▼▼コロナの感染状況の改善に伴い、岸田首相は外部との会食を再開。6日には臨時国会が召集される。国民本位の「聞く力」だったのか、その真価が問われよう。